



各項目低下傾向！！歯止め対策が必要か

【逆上がり調査結果】

	21年度 (秋)	22年度 (秋)	23年度 (秋)	24年度 (秋)	25年度 (秋)	26年度 (秋)	27年度 (秋)	28年度 (秋)	29年度 (秋)	30年度 (秋)
6年生	80.5%	81.7%	81.8%	80.2%	80.1%	79.1%	80.5%	78.8%	77.2%	77.1%
5年生	78.6%	75.2%	77.2%	76.1%	74.3%	79.1%	75.7%	74.7%	76.8%	70.8%
4年生	73.3%	70.3%	69.8%	71.5%	73.4%	72.9%	72.8%	73.6%	70.4%	68.8%
3年生	67.7%	59.4%	64.7%	66.8%	62.2%	68.2%	68.7%	64.1%	62.8%	58.9%

【後方支持回転調査結果】

	25年度 (秋)	26年度 (秋)	27年度 (秋)	28年度 (秋)	29年度 (秋)	30年度 (秋)
6年生	31.9%	33.6%	34.3%	30.6%	30.0%	29.4%
5年生	29.7%	31.2%	29.3%	29.5%	29.0%	24.1%
4年生	26.9%	24.9%	30.7%	27.4%	24.7%	24.3%
3年生	18.5%	24.1%	23.1%	18.9%	20.6%	18.9%

【足抜き回り】

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
2年生	90.3%	86.4%	86.5%	84.7%	85.7%
1年生	81.9%	84.6%	85.5%	87.1%	85.9%



春から秋の調査結果の比較

【逆上がり】

	30年度	春	秋
6年生	76.2%	77.1%	
5年生	70.5%	70.8%	
4年生	68.4%	68.8%	
3年生	55.4%	58.9%	

【後方支持回転】

	30年度	春	秋
6年生	26.3%	29.4%	
5年生	23.3%	24.1%	
4年生	21.7%	24.3%	
3年生	15.8%	18.9%	

今調査から見えるもの



1. 春から秋の伸びが小さい

○課題

・直前だけの練習になってしまい、継続した練習をすることができていない。

○改善するために

・**春から秋、秋から春にかけての合間の継続的な練習**をし、できるだけ鉄棒に触れる機会を増やす。
・体育の初めの5分に鉄棒を使った運動をしたり、サーキット運動の中に鉄棒運動を取り入れたりする。

2. 各学年、年々下降傾向に

○課題

・鉄棒に必要な**基礎感覚が不足**している。特に、**体の締め感覚が低下**している。

↓だんごむし

○改善するために

・鉄棒に必要な基礎感覚を養う。

①「逆さ感覚」、②「腕支持、体を起こす感覚」、③「体の締め感覚」、④「後方への回転感覚」

※別紙「鉄棒運動実態調査取り組みのお願い」にこちらの感覚を養う練習方法を掲載してありますので、参考にしてください。まずは、「**だんごむし**」で**体の締め感覚を養う**運動からやってみましょう。



☆今後のAthleteの活用について

前回のAthleteNo.115から各校へデータで配付となりましたので、各校で活用していただければと思います。上手に活用して**子どもたちの「できた！！」のために**生かしていただけると幸いです。

各校で調査をし、データを提出する。

小体連より各校へAthleteをデータで送る。

各校でデータを使って、自校の達成率と比較したり、練習方法を職員会議の議案や体育便りに載せて提案したりする。

次回の調査に生かす。

